

あのグリーンカーテンが たわしに変身・・・？



5月に西校舎の脇に、グリーンカーテンを作るためにヘチマ、キュウリ、ツルレイシ、小玉スイカを植えた4年生。夏休みの間にすくすくと成長し、見事なグリーンカーテンに！実もたくさんできました。10月になると、ヘチマの実もカラカラに乾き、中はどうなっているんだろう？という疑問をもちました。そこで、苗植えを教えてくださいました水研クリエイティブの方を再びゲストティーチャーに招き、そのヘチマを使ってたわし作りに挑戦です。

まず中の種を取ります。種は何個入っているのかな？ヘチマ1個あたりの種の数を数えると、およそ400個！！そして、外側の皮をぱりぱりとむくと・・・すると、ゴワゴワのスポンジのようなヘチマの中身が表れました。全部剥けたらたわしの完成です。1人1個ずつ持ち帰り、「お風呂掃除に使おう」「上履きを洗うのにちょうどいい」と言っている子もいました。



こんな時、どうする？～煙体験～

避難訓練の一つとして、テントの中に煙を充満させてその中を歩く「煙体験」を行いました。子供たちはテントに入った瞬間、「前も横も後ろも分からない」「こんなに見えなくなるんだ」と、火災での煙の多さに驚いていました。また、消防署の方から、「体を低くすると、下の方は煙が少ないから動きやすいこと」「足や手で地面や柱や壁を確認しながら歩くこと」を教えてくださいました。火災が起きた時の行動についても実際に体験してみて確かめることができました。いざという時も、訓練で学んだことを忘れずに、落ち着いて行動することが大切ですね。

